



ルックチルドレン隊紹介式

6月28日(月)にルックチルドレンの14名の皆さんにお越しいただき、感謝の気持ちを伝える式を行いました。新型コロナ感染症対策のため、1年生と6年生が体育館で対面し、他の学年はリモート集会という形で映像配信での参加となりました。

ご存じかと思いますが、ルックチルドレン隊とはオレンジベストを着て、各地域で毎朝登校指導やあいさつ運動をいただいているボランティアの方々です。

子どもたちに「今日来ていただいたルックチルドレンの方を知っていますか。」と尋ねたところ、ほとんどの児童が「知っています。」と答えていました。

しかし、「皆さんそれぞれの地域でお世話になっている方のお名前を知っていますか。」と尋ねたところ、わずかな児童しか名前を知っていませんでした。少し意外でしたが、昨年度、この会が開催できなかったことも背景としてあるのかもしれませんが、幸い、今回はルックチルドレンの皆さんに自己紹介をしていただき、どこの地域のどなたかをお話しいただいたので、きっとこれから登校時のあいさつも変わってくるだろうと期待しています。

紹介式の後、担当の職員との情報交換会も行いました。皆さんが口々に、「毎朝子どもたちに会えるのが楽しみです。」「孫と一緒に登校するのが楽しみの一つです。」「羽合小学校の子どもがとにかく大好きです。」といったお話をされ、心が温くなりました。

同時に、「23年前に校区で小学生の交通死亡事故があり、それ以来続けている。」というお話も伺いました。改めて児童一人一人が自らの安全を守れる力をつけていくことの大切さを実感しました。地域で活動いただいている方々は、まだたくさんいらっしゃると思います。皆様、毎日本当にありがとうございます。



教育実習生、頑張る！

5月31日から6月25日までの約1か月間、芝 伊織さんが本校で教育実習を行いました。彼は羽合小学校開校当時1年生だったそうで、母校での実習ということもあり、張り切って実習されました。最終日に感想を聞いたのですが、なんといっても子どもたちがフレンドリーで毎日楽しく過ごせたとのことでした。と同時に教職の楽しさ、厳しさも実感し、教師になりたいという思いが確かなものになったとも話してくださいました。また、羽合小学校の先輩として、在校生に「元気な気持ちを持ち、仲良くし、夢を持って頑張してほしい。」とのメッセージもいただきました。我々教職員も、ともすれば見失いがちになる「初心」を芝さんから思い出させられました。近年、教職を目指す若者が減少している中、本当にうれしいことです。がんばれ芝 伊織さん！

